

平成24年行政事業レビューシート (農林水産省)

事業名	水産多面的機能発揮対策	担当部局	水産庁	作成責任者			
事業開始・終了(予定)年度	平成25年度～29年度	担当課室	漁港漁場整備部計画課	計画課長	宇賀神 義宣		
会計区分	一般会計	施策名	①漁村の健全な発展				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	—	関係する計画、通知等	水産基本計画(平成24年3月閣議決定) 日本再生戦略(平成24年7月閣議決定) 食と農林漁業の再生のための基本方針・行動計画(平成23年10月 食と農林漁業の再生推進本部決定)				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	水産業・漁村は、古くから、国民に安全で新鮮な水産物を安定的に提供する役割に加え、国民に対して種々の多面的機能を提供する役割を担ってきた。しかしながら、漁業者の高齢化、漁村人口の減少等により、これら多面的機能の発揮に支障が生じている。そのため、日本再生戦略に掲げる食と農林漁業の再生、我が国の食と農林漁業の再生のための基本計画・行動計画の具現化を図るために、水産の多面的機能の効果的、効率的な発揮を目指す。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	(1)水産多面的機能発揮対策事業 漁業者等が行う水産の多面的機能を図るため、以下の活動項目について支援。 ① 国民の生命・財産の保全：国境監視、海難救助等 ② 地球環境保全：藻場・干潟等の維持・保全、海洋汚染対策、漂流漂着物処理 ③ 漁村文化の継承：教育と啓発の場の提供、漁村の伝統文化、食文化等の伝承機会の提供 (2)水産多面的機能発揮対策支援事業 上記多面的機能の発揮に資する活動を全国的に推進するため、優良事例の普及、講習会の開催等の技術的サポート等を実施する民間団体(公募により選定)に補助金(定額)を交付する。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input checked="" type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位：百万円)		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求	
	予算の状況	当初予算					3,000
		補正予算					
		繰越し等					
		計					3,000
	執行額						
執行率(%)							
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	21年度	22年度	23年度	目標値(28年度)
	①漁場再生又は新規漁場整備による新たな水産物の供給量 11万トン	①成果実績	万トン				11
		達成度	%				
	②多面的機能に関する活動を行った市町村数	②成果実績	トン				650
達成度		%					
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	活動組織が行う多面的機能発揮に関する活動項目の数(延べ)		活動実績(当初見込み) 項目数				— (2500)
単位当たりコスト	—		算出根拠	執行額/活動実績			
平成24・25年度予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由			
	水産多面的機能発揮対策事業		2800	日本再生戦略に関する「特別重点要求」(農林漁業再生分野) 3,000			
	水産多面的機能発揮対策支援事業		200				
計	0						

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・状況・予算の	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
	—	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・使途	—	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	—	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	—	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	—	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	—	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	—	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	—	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	—	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。 ※類似事業名とその所管部局・府省名	
	—	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	【過去の事業仕分け等の結果や横断的な見直し基準等を踏まえて事業案が作成されているか】 過去の事業仕分けの結果や横断的な見直し基準等を踏まえたものになっている。		
	【事業の成果目標、活動指標が立てられているか。また、事業効果のシミュレーションが厳密に行われているか、その際、より効率的な他の手段の選択の可能性について、真剣な検討が行われているか】 漁場再生又は新規漁場整備による新たな水産物の供給量11万トンを図るため、漁業者の高齢化、漁村人口の減少等により多面的機能の発揮に支障が生じている水産業・漁村の現状に鑑み、全国規模での取組みをもって水産業の再生を図る必要から、多面的機能に関する活動を行う市町村数を指標とし、項目数を活動指標とした。		
	【直接の利害関係者からの要望にとどまらず、広く国民のニーズに答えるものとなっているか。】 水産業・漁村の持つ多面的機能の効果的・効率的な発揮により水産業の再生・漁村の活性化を図るため、漁業者等が行う多面的機能の発揮に資する国民の生命・財産の保全、地球環境保全、漁村文化の継承などの活動に対して支援を行うことは、国民に安全で新鮮な水産物を安定的に提供する役割に加え、国民に対して種々の多面的機能の提供につながることから広く国民のニーズに答えるものである。		
	【そもそも立案しようとしている事業は、当該府省のミッションなのか】 水産業・漁村の持つ多面的機能の効果的・効率的な発揮により水産業の再生・漁村の活性化を図るためには、漁業者等が行う多面的機能の発揮に資する活動に対して支援を行うことが必要であり、当庁が策定した水産基本計画の着実な履行を図るものである。		
予算監視・効率化チームの所見			
		指示されている「過去の事業仕分け等の結果や横断的な見直し基準等」、「事業の成果目標及び活動指標の設定等」、「広い国民からのニーズへの対応」、「当省のミッションか否か」等に係る点検を行ったが、新規に要求する事業としては問題ない。	
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
補記 (過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	413	平成23年行政事業レビュー	0291

農林水産省



交付金

地域協議会

〔活動組織に対する交付金交付事務、指導等の協議会の運営〕



交付金

活動組織

〔多面的機能の発揮に資する活動の実施〕



公募・補助

民間団体

〔多面的機能の発揮に資する活動に対しての支援体制を構築〕

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する) (単位: 百万円)